

(3)

/

八

伊

国

人

/

部

REEL No. A-1201

0580

アジア歴史資料センター

伊太利

三月十日 伊太利駐日公使 電報 抄

「ス」伊太利總領事ニ對シ本官ヨリ其ノ職務執行ハ停止スヘキモ居留民
 代表トシテ保護關係事務ノ執行ハ差支イテ旨 説明セルニ對シ「ス」ヨリ日本側ニ
 於テ誰ヲ居留民代表トシテ希望セラルルヤトノ質問アリタルニ付本件ハ伊太利人
 内務ノ問題ニシテ當方トシテハ猶ニ考慮シ居ラサルモ從來ノ關係ヨリスルモ又現在
 伊太利居留民會ノ組織モ存在セサル實情ヨリ大ニ「ス」總領事カ引續キ代表ト
 シテ職務ヲ執行セラルルコト最モ自然ニテ希望マシカラスヤトノ意見ヲ附陳ニ置キ
 更ニ「ス」總領事ハ現在當地伊太利人七五〇名ノ中約二〇〇名ハ極ノテ貧困
 ニシテ從來總領事トシテモ其ノ救濟ノ義務ヲ擔ヒシ未リタルモ今般本國
 政府ノ消滅ト米ノ奉還ヨリノ送金ノ途モ絶タレタルニ依リ莫クシテ生活維持費及
 公館維持費ヲ備セ月額約ニテ十萬元ハ在東京伊太利資金ニ種ルノ外ナク
 次第ニ付在所要金額ノ當地尙送金乃至振替ニ用シ本官ノ斡旋ヲ懇請セルニ
 於本省ニ於テ「ス」總領事トシテ伊太利地方尙當能相煩度

大正五年三月十日
 外務省 總務課長 通電

(國定規格B二五五)

大日本帝國政府

東郷大東亞大臣宛 內代理大使 陸龍寫 (本省六月九日着)

在京伊太利事務所「マリン・エビ」ニ對シテ 左ノ通ニ御傳ヘ請フ

NO CHANGE MAKING NTD ADMINISTRATIVE JOB AND FORSEING DIFFICULTIES
COLLECTIVE OFFICES ALLOWING IN ORDER SUSSIDY UPKEEPING IN FACILITY
BEG YOU KINDLY CONSIDER POSSIBILITY HELP IN WITH STRAIGHT REFERENCE
FROM TOKYO. VERY THANKS WITHFUL HOMAGE MAZZOLENI SPINELLI

本館
207
マリン・エビ
事務所

(23/6)

政務局第四課

A 7.0.0.9-11-2-1

備典課長

輕善通第三六號

昭和十年六月十二日

外務省輕井澤事務所長

持命全權公使大久保利

吉岡儀典課長殿



何大利外交官陳刺ニ關スル件
 過日「コルジエ」瑞西公使ヨリ本件ニ關シ本國政府、
 訓令ニ基キ外務省ニ申入レタルモ未ダ回答ナキハ
 日本政府トシテハ萬一之等何大利外交官ニシテ
 空襲ニ依リ死傷發生スルニ於テハ厄行ナル問題ヲ
 生スヘク去方々早自ニ雷使(陳刺セシムル)ト可成
 旨速ハ居リタリ

外務省

20.6.15

日本標準規格B5

REEL No. A-1201



アジア歴史資料センター

就テハ本件ニ関スル御意同御示煩度御承知
ノ旨ク當此ノ家屋ハ一般外人疎開ト共ニ全知
開カリ外交團ヲ疎開セシムル家屋ハ無クニ到ル
ヘク後ツテ早目ニ其ノ人数等御示乞フ
尚今後在京外交團員ノ當此ノ疎開者ノ最
大人数御直報煩度右ニ依リ當此ニ之ニ相當
スル家屋ヲ留保レ置ク必要有之ニ
尚六月八日緊急船一便ヲ以テ發送セシ輕普面御
ニ五拜ニ関シテモ何方ノ儀御回報相煩度ニ

外
務
省

（日本外務省記録）



外發第一二九號

昭和二十年六月十三日

内務省警保局 外事課長

警視廳特高部長
秋田縣警務部長 殿

抑留者ノ移管收容ニ關スル件

東京都大森區田園調布三ノ一四〇所在警視廳第一抑留所ニ於テハ豫爾元
伊太利公館員四十六名ヲ收容抑留中ナルトコロ諸般ノ情勢ニ考慮シテ今
般之ヲ秋田縣鹿角郡毛馬内町下小路所在慈榮私塾ニ移管收容スルコトト
セルニ就テハ相互ニ緊密連絡ノ上左記ニ依リ當該抑留者移送方御取計相
成度

記

一、抑留者ノ移送ニ關シテハ新抑留所ニ於ケル收容施設ノ急進ナル促進ヲ
俟テ適當ナル時日ヲ撰ビ之ヲ實施スルコト

大日本帝國政府

東京府大森區

總務課

昭和二十六年六月二十二日
第...号

大日本帝國政府

ニ移治ハ警視廳ニ於テ檢査シ移治ニ要スル經費ハ同廳ヘ配當ニ依リ抑留
ニ關スル經費中ヨリ之ヲ支辨スルコト
再移治ニ際シテハ警視廳ヨリ秋田縣ヘ抑留費並上所要ノ一括關係記録ヲ
引續ケト共ニ抑留者處置取上ノ諸要點ヲ細大トナシテ連絡スルコト

REEL No. A-1201

0586

アジア歴史資料センター

元在京伊太利社會共和國「プリンチビーニ」代理
 大使發帝國外務省宛六月十三日附口上書第一四三號（譯文）
 元在京伊太利社會共和國代理大使「オメロ、プリンチビーニ」大佐
 ハ義ニ帝國外務省ヨリ同人ニ對シ爲サレタル同人ノ公務執行機能停
 止ニ關スル通告ヲ了承シ且上海ニ於ケル獨逸居留民代表ノ選定ノ例
 ニ準シ帝國政府ノ同意ヲ條件トシテ元在京伊國領事「アルフレド、
 デ、プロスベロ」ヲシテ在本邦伊國人及伊國權益ノ擁護ニ當ラシメ
 元在京伊國大使館記録書記官「デヨバンニ、クローリ」ヲシテ關係
 事務ノ遂行ヲ補佐セシムヘク而シテ兩人共今後籍根官ノ下富士屋「
 ホテル」ニ居住スルコトトナリタルニ付前記ノ次第關係帝國官憲ニ
 對スル周知方帝國外務省ニ依頼スルノ光榮ヲ有ス

外務省

A 7.0.0.9-11-2-1

政西書通合第一四號

口上書

帝國外務省ハ 國公使館ニ對シ今般帝國政府ニ於テ空襲禁止トナ
 レル事應ニ應ミ保護ノ爲メ期スル目的ヲ以テ本邦内閣當ノ地域（
 泉源、北陸以東居住中立國人ノ爲ニハ主トシテ長野縣輕井澤町）ヲ
 選定シ同地域ノ「ホテル」別荘等ヲ確保シ外國人ノ疎隔ニ資シ度キ
 意向ヲ有スルニ付 國外交官及在留民ニ對シ右帝國政府ノ意向ヲ
 傳達セラレ疎隔希望者中外交官ハ帝國外務省ト、一數在留民ハ現居
 任道府縣常務司ト速カニ連絡イ上疎隔項目ニ關シ打合ス可キ旨周知方
 取計ハレンコトヲ要請スルノ光榮ヲ有ス
 尚右疎隔地ノ選定ニ當リ帝國政府トシテハ比較的外國人居住ニ關ス
 ル地域タル可キコト、食糧配給ニ便利ナル地域タル可キコト等ヲ考
 慮セル旨茲ニ今次疎隔荷物ノ檢査ニ當リテハ戦時下應フ限りノ限度

A 7.0.0.9-11-2-1



ニ於テ便宜ヲ供與ス可キ旨申添フルノ光榮ヲ有ス
昭和二十年六月十三日

REEL No. A-1201

0588

アジア歴史資料センター

政四普通第六號

昭和二十年六月二十一日

外務省政務局第四課長

經井澤外務省事務所長

大久保 公使 殿

元伊太利國外交官疎開ニ關スル件

本件ニ關シ六月十二日附貴信經普通第三六號ヲ以テ吉岡儀典課長宛御照會越ノ趣了承右ニ關シテハ義ニ鈴木公使貴地出張ノ際「ヨルジエ」瑞西公使ヨリ口頭ニテ申入レアリ當時同公使ヨリ北方ニ疎開スルノ用意アルヘキ旨一應答ヘ置キタル趣ナル處今般内務省警保局ヨリ東京都大森區田園調布所在ノ警視廳第一抑留所ニ收容抑留中ナル元伊太利國公館員四十六名ヲ近ク秋田縣鹿角郡毛馬内町下小路所在慈榮私塾（場所ハ未タ發表セラレ居ラサルニ付貴使

不
及
元
保
録



外務省

戊

御含ミ迄）ニ移管收容スルコトトナリタル旨通報アリタルニ付委曲右ニテ御了知ノ上瑞西公使ニ對シ可然御説明相成度

外務省

發信用執務用		懸案		安部 御文		後 為 公 任 務	
主信	甲	A 9009-11-2-1		昭和三十二年七月拾八日		文書課發送日	
附	乙			昭和三十二年七月拾八日		淨書	
屬	丙			昭和三十二年七月拾八日		正校(原稿)	
備考	丁			昭和三十二年七月拾八日		附屬	
公文		案件		受信人		主任	
案		先付送寫		在 竹 相 和		第四課長	
一		在 本 知 件 予 知 人 代 表 選 定 之 書 之 件		不 正 正 加 ン ケ コ ー ニ 大 任		昭和三十二年七月拾八日	
外		科 際 陳 述 書 案 第 十 三 号 附 帶 國 外 知 件 查 査 記 以 上 案 亦 一 回 之 件		昭和三十二年七月拾八日		附屬	
務		ヲ 以 テ 貴 官 ハ 國 外 知 件 查 査 記 以 上 案 亦 一 回 之 件		昭和三十二年七月拾八日		附屬	
省		為 之 旨 公 報 執 行		昭和三十二年七月拾八日		附屬	
		名 件 録 記		名 人 信 發		昭和三十二年七月拾八日	
				在 内 勞 働 課 長		昭和三十二年七月拾八日	

REEL No. A-1201



aux autorités compétentes.

Veillez agréer, Monsieur le Colonel, l'assurance
de ma considération très distinguée.

Chef de la 4e Section à la
Direction des Affaires politiques.

Le 18 juillet 1945.

昭和
廿年
七月
拾八
日

Monsieur le Colonel,

J'ai l'honneur de vous accuser réception de la Note Ver-
bale No.143, du 13 juin dernier, par laquelle vous avez bien
voulu prendre acte de la communication qui vous avait été
faite par le Ministère des Affaires étrangères au sujet de
la cessation de vos fonctions.

Vous me communiquiez en même temps que par analogie du
choix du représentant des résidents allemands à Shanghai,
sous condition de l'assentiment du Gouvernement Impérial
vous aviez chargé de la protection des ressortissants italiens
et des intérêts italiens au Japon M. Alfredo de Prospero, an-
cien consul d'Italie à Tokyo, qui sera secondé dans l'expédi-
tion des affaires par M. Giovanni Flori, ancien Secrétaire-
Archiviste à l'Ambassade d'Italie à Tokyo, et que tous les deux
habiteront dans "Fujiya Hotel", Miyanoshita, Hakone.

Je n'ai pas manqué de transmettre cette communication aux
autorités compétentes.

Veillez agréer, Monsieur le Colonel, l'assurance de ma
considération très distinguée.

Chef de la 4e Section à la Di-
rection des Affaires politiques.

Le 18 juillet 1945.

Monsieur le Colonel,

J'ai l'honneur de vous accuser réception de la Note Verbale No. 143, du 13 juin dernier, par laquelle vous avez bien voulu prendre acte de la communication qui vous avait été faite par le Ministère Impérial des Affaires étrangères au sujet de la cessation de vos fonctions.

Vous me communiquez en même temps que par analogie du choix du représentant des résidents allemands à Shanghai, vous aviez chargé sous condition de l'assentiment du Gouvernement Impérial de la protection des ressortissants italiens et des intérêts italiens au Japon M. Alfredo de Prospero, ancien consul d'Italie à Tokyo, qui sera secondé dans l'expédition des affaires par M. Giovanni Flori, ancien Secrétaire-Archiviste à l'Ambassade d'Italie à Tokyo, et que tous les deux habiteront dans "Fujiya Hotel", Miyanoshita, Hakone.

Je n'ai pas manqué de transmettre cette communication

aux

Monsieur Omero Principini,

Colonel d'Italie.

公 信 案

トノ法律関係ニ觸ルコト世々事實上右要求ニ

当省トシテ在記理由ニ依リ此際帝國ト伊國政府

之ガ敵国外交官並待遇引上ゲ方要求シ来リタル處

瑞典國政府ヲ通ジ「インテルリ」一行ノ待遇改善即チ

帝國權益ニ関スル事實上ノ利益保護ニ当リタル

要求アリタルガ 今般更ニ同政府ヨリ任伊本邦人及

反「フアン」レ伊國政府側ヨリ法廷庭等ヲ通ジ屢次

其家族 金計 全部 名ノ待遇改善ニ関シテ從來

反「フアン」レ伊國政府側ヨリ法廷庭等ヲ通ジ屢次

要求アリタルガ 今般更ニ同政府ヨリ任伊本邦人及

帝國權益ニ関スル事實上ノ利益保護ニ当リタル

瑞典國政府ヲ通ジ「インテルリ」一行ノ待遇改善即チ

之ガ敵国外交官並待遇引上ゲ方要求シ来リタル處

當省トシテ在記理由ニ依リ此際帝國ト伊國政府

トノ法律関係ニ觸ルコト世々事實上右要求ニ

(日本標準規格B5)

發信用執務用		懸案		政一長		政務局長	
主信		先付送寫	農商省總務局長	名 人 信 受	內務省警保局長	政務局長	政務局長
附 甲		名 件	元伊國大使及大使館員並其家族ノ待遇改善ニ関スル件	名 人 信 發	政務局長		
附 乙		現在秋田県	郡毛馬内	名 件 録 記			
附 丙		伊國大使「インテルリ」夫妻及伊國大使館員並					
附 丁							
備考	A7009-26						

文書課長 八

文書課發送日 昭和廿年七月廿九日

主 任 第 三 號

政 務 局 第 一 一 三 號

昭和廿年七月廿九日附 附 屬

正校(原稿) (淨書)

昭和 年 月 日 起草

(日本標準規格B5)

根據薄弱トナリタリ。
 二最近 聯合國側ハ「インテリ」一行ニ対スル我方ノ
 待遇振リヲ反日宣傳ニ利用シ居ルニ鑑ミ同行
 ニ對スル待遇ヲ改善シ敵側宣傳ノ手ヲ封ズルニト
 時宜ニ適ムルモト認メラル。
 三現在 在伊日高大使一行（陸海軍武官ヲ含ム）
 ハ事實上敵國外交官並ニ取扱ヲ受ケ居ル處
 同國伊國政府ハ前奧國政府ノ如ク
 「インテリ」一行ニ對スル我方ノ取扱如何ニ依リテハ
 伊國政府トシテ

(日本標準規格 B5)

公 信 案

外 務 省

應ズルコト然レ可ト認ムルニ付 貴省ヨリ本件
 審議上何カ貴見即同相煩度此段即依頼
 申進ム
 本信寫送付先 農商省 總務局長
 記
 一「インテリ」ニ政府消滅ノ結果全伊太利ハ反「フ」
 「フ」ニ政府タル「バ」リ政府ノ統治下ニ入りタルニ付
 在本邦伊國外交官ヲ「インテリ」ニ派及反「フ」
 「ソ」リニ派トニ區別シ其取扱ヲ異ニス可キ實質的

(日本標準規格 B5)

公 信 案

外 務 省

發信用執務用	
主信	
附甲	
乙	
丙	
丁	
備考	A7009-26

懸案

公文書案	通、次分見込、一行、待遇改善、(市南) 配給、(市南)	名件 元伊國大使及大使館員並之其家族待遇改善之件 如件ニ關シテハ、内務省總務局長及川氏等、(市南)	先付送寫 名件録記	名人信受 農商省 總務局長	名人信發 政務局長	主管 政務局長 普通第 七五 號 昭和二十年七月廿 日附 附屬	文書課發送日 昭和廿年七月廿壹日	淨書 正校(原稿) 昭和二十年七月三十日起草
		外務省						

(日本標準規格 B5)

文書課長

公文書案	日高大使一行ノ待遇平素激シ悪化ニ堪ナ セシメカルヲ得カルヒ日ノ意思向テ表明ナラセリ。 (寫一部 農商省 總務局長ノ送付ノ旨)
外務省	

(日本標準規格 B5)



高年(伊予)一
鎌倉二年(1191)年信
(二月十五日)一
在弘内者也一

(Giuseppe Jacomelli) 二社ノ在伊予人留寸之ヲ留馬法王
龍ノ通ニ在信(知事又係信)方
此ノ付在才然以取汁胆破公以飯以依帳申途又

記

伊予本: Tutti in casa itanno bene, salutano et

mirano appetuosity.

知事文、小水後(同無事)、(向)リ親登志後務シ道

公 信 業 一 外 務 省

(日本標準規格 B 5)

REEL No. A-1201

0599

アジア歴史資料センター